

本書のトリセツ

本書の使い方は2パターンあります。

その1 外国人患者のトラブルを急いで解決したい場合

⇒8～9ページの外国人医療トラブルシューティングに該当する項目を参考にして、対応してみてください。

その2 外国人患者を少しでもスムーズに診療したい場合 院内の外国人の医療体制を整備したい場合

⇒本書は優先順位の高い情報から順に章立てしています。時間がある方は最初から読み進めるほうが効率の良い学習となるように作成しております。

一方で、前のページの目次を参考に、気になるページから読み進めてもかまいません。本書は以下の3つのPartから成り立っています。

- ◎Part1は外国人患者への対応法を準備中の医療機関に向けて、突然外国人患者がやってきた場合にとりあえずできる対応を解説しています。外国人患者に慣れていない医療スタッフの助けになると思います。一方で、すでに多数の外国人を診療したことがある医療機関は、Part1を普段の外国人診療において十分対応できているかの確認に利用してください。
- ◎Part2では、コトバとおカネの対応について具体的に何を準備するとよいか解説しています。
- ◎Part3では、コトバとおカネ以外で外国人診療を行うと必ず発生するトラブルと、その解決方法について解説しました。

本書を通読すれば、とりあえずの外国人対応に必要な知識から、本格的な外国人診療をはじめするために必要な体制づくりの準備方法までを知ることができます。